

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p>&lt;学習上の課題&gt;基礎的・基本的な知識・技能はすでに身につけている生徒も多いが、①数学の「数と式」など分野によって差が出ていること、②学力が二極化していることが課題である。</p> <p>&lt;指導上の課題&gt;スタディサプリなどを用い、個々にあった学習方法や習得した「知識・技能」を活用する場の設定や、学び合い活動などを行うことで、スローラーナーへの支援が課題である。</p>	<p>⇒ AIドリル等を活用し、基礎的・基本的な事項の定着を目指し、個の定着度に応じた反復練習に取り組みさせる。【単元終了時等】</p> <p>また、生徒の学習履歴等に基づき、適宜アドバイスをし、定期テスト前等の学習計画の作成や、家庭学習等を活用した取り組みを行う。【学期に2回程度】</p>
思考・判断・表現	<p>&lt;学習上の課題&gt;①問題文を読んだり発表や質問を聞いて答えたりすることへの苦手意識が高いこと、②発表やレポートなどにおいて、自分の言葉で表現する力が弱いことが課題として挙げられる。</p> <p>&lt;指導上の課題&gt;教科書等を用いて、書いてあることを根拠に自分の考えを話す活動など、自分の考えを論理立てて構築する活動を行い読解力と表現力の向上に取り組むことが課題である。</p>	<p>⇒ 授業の中に話し合い活動やスピーチ活動を積極的に位置づけ、表現する力の向上を図る。タブレット端末を活用し、情報活用や発表の能力が求められる学習活動を多く設定する。【単元計画の中で随時実施】</p>

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能			
思考・判断・表現			

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

⑤	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

※評価  
 A 8割以上(達成)    B 6割以上(概ね達成)    C 6割未満(あと一歩)